

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 第 77 回理事会議事録

日時：2021 年 7 月 13 日（火）14：00～16：00

場所：東京都千代田区一ツ橋二丁目 4 番 4 号一ツ橋別館 4 階会議室を開催場所とする Web 会議

出席理事：大隅典子、池田和隆、糸川昌成、岩田仲生、尾崎紀夫、喜田聡、北市清幸、新田淳美、
橋本謙二、橋本均、橋本亮太、宮川剛、山田清文、渡邊衡一郎

出席監事：曾良一郎、吉岡充弘

欠席理事：久住一郎、服部信孝、古屋敷智之

議長：大隅典子

本理事会は Web 会議システム（Zoom）を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常なく、上記のとおり理事の過半数の出席があり、本会議は有効に成立した。

14：00～14：10

第 10 回学術奨励賞および 2021 年度優秀論文賞受賞 オンライン授賞式を開催

議案：

前回（第 76 回）理事会議事録の確認がなされ、異議なく承認された。

報告事項

1. 年会報告

➤ 第 51 回年会準備状況報告（宮川年会長）

宮川年会長より年会準備状況について報告がされた。

・予定通り、国立京都国際会館と Zoom ウェビナーのハイブリッド開催とする。

・国内講演者と参加者は現地とリモートのどちらからでも参加可とし、海外演者はすべてリモート発表となった（ただし、時差の関係で、録画発表も可とした）。リモート発表（ポスター）は、e-poster を採用した（7 月 7 日公開済み）。

・事前参加登録者は 388 名（やや Web 参加予定が多い）、7 月 7 日より当日参加登録を開始し、7 月 13 日時点では、130 名の当日参加登録があった。当日参加登録者が 250 名を超えれば赤字を回避できる見込みである。

・市民公開講座を 7 月 24 日に Web（Zoom ウェビナーおよび YouTube）にて開催する。

・当日運営の感染対策は、以下の通り実施する。

①入口での検温

②入口、会場前にアルコール消毒液の設置

③健康状態申告書の提出（入口で記入および提出/毎日）

④席数は 50%

➤ 第 52 回年会準備状況報告（井上年会長）

井上年会長より資料報告があり、大隅理事長より報告がされた。

開催日時・場所：2022 年 11 月 4（金）～6 日（日） 都市センターホテル/砂防会館

大会テーマ：「心」につながる基礎と臨床の架け橋

大会長：日本生物学的精神医学会（BP）加藤忠史会長 / 日本臨床精神神経薬理学会（CNP）久住一郎会長

日本精神薬学会（PP）三輪高市会長 / 日本神経精神薬理学会（NP）井上 猛会長

NP 年会役員：副会長 藤村洋太（東京医科大学八王子医療センターメンタルヘルス科教授）

事務局長 榎屋二郎（東京医科大学精神医学分野准教授）

参加費：会員 14000 円（事前登録 12000 円） 非会員 18000 円（事前登録 15000 円）

・予算上、ハイブリット開催はせず、来年春頃に完全オンライン開催（LIVE 配信、一部録画講演の配信）か完全現地開催（WEB 配信などなし、オンサイトのみの開催（通常の学会開催））かを決定する。

・今後のスケジュールは以下を予定している。

プログラムアンケート募集：2021 年 8 月～11 月頃（予定）

演題募集：2022 年 5 月 18 日（水）～7 月 6 日（水）（仮）

2. 各委員会報告 ※報告事項がある委員会は資料のみ提出

活動状況の報告がされた。

➤ 執行委員会（大隅委員長）

・53 回年会は服部信孝先生（精神科と精神内科の融合を目指す）、54 回年会は新田淳美先生（CINP 日本誘致のため、国際連携の強化を図る）に決定した。

➤ 総務委員会（北市委員長）

・会員名簿の公開（6 月 14 日）、新入会者承認可否対応、会費未納者への納入依頼および海外在住者対応（6 月 22 日）、日本神経精神薬理学雑誌のバックナンバー販売（経費を実費請求）を行った旨、報告がされた。

・2021 年 4 月 7 日から 2021 年 7 月 8 日までの会員動向について以下の通り報告がされた。

会員数 1,970 名

名誉会員 32 名

功労会員 55 名

評議員 318 名

一般会員 1,334 名

学生会員 219 名

法人会員 12 社

（内、新入会 20 名）

退会 23 名

➤ 財務委員会（池田委員長）

・各予算の担当委員会、予算取扱いに関して報告がされた。

①CINP や AsCNP での優秀演題賞では、国際学術委員会、学術賞選考委員会、広報委員会など多くの委員会で連携して企画されているが、予算としては国際学術委員会が担当する。

②鍋島賞は、総務委員会、国際学術委員会、学術賞選考委員会、広報委員会が連携して企画されているが、ご寄附いただくところと鍋島賞積立金については総務委員会、表彰での支出に関しては国際学術委員会が担当する。

③神経精神薬理振興基金の減少を踏まえ、AsCNP 年会費や国際学会での賞の経費は当面は学会・学術活動積立金から支出する。

④承認済みの予算以外に年度途中で執行が必要になる場合は、当面は原則として、5 万円未満は財務委員長判断、50 万円未満は財務委員会で検討の上理事長の承認、50 万円以上は財務委員会で検討の上理事会の承認、として進める。

➤ 編集委員会（宮川委員長）

・NPPR 関連賞受賞者が選出された。

・BPNP2021 年会において NPPR シンポジウムを開催する（7 月 14 日（水）16:40-18:40）。

・脳科連において、共同で新しいジャーナル（サウンドネス基準の OA 誌とハイインパクト誌）を立ち上げる案が出ており、6 月 16 日に、大隅理事長、池田委員、宮川編集長で、文科省学術基盤整備室の橋爪参事官らと、日本のジャーナルのあり方、APC 補助のあり方などについて意見交換を行った。

➤ 国際学術委員会（新田委員長）

- ・AsCNP2021 は、2021 年 10月22-23日にオンラインにて、AsCNP2023 は、2023 年 9月22-24日に西安で開催予定である。
- ・第 6 回アメリカ神経精神薬理学会（2021 年 12月5-8日、San Juan, Puerto Rico、ハイブリッドでの実施）への参加+ポスター発表枠の招待が来ており、7月25日を締切りとして、募集中である。
- ・今年 11月にモントリオールで開催予定であった CIMP2021 は中止となり、CIMP2023 として実施予定。次の開催は、2022 年 6 月9-12日台湾大会を予定している。

➤ 広報委員会（古屋敷委員長）

大隅理事長より報告がされた。

- ・学会 HP リニューアルのメインカラーは、評議員投票によりブルーを基調とする。

➤ 企画委員会（喜田委員長）

- ・NPBPPP2020 における教育講座動画のオンデマンド配信の準備を進めており、学会会員限定ページにて配信予定である。
- ・医学系を中心に基礎系の学会との共同シンポジウム等を企画し、他分野の学会と連携し、本学会における研究の発展・充実と若手育成を進める。連携シンポジウムを実現するための方策は今後検討する（評議員や理事に企画開催アンケートの実施等）。

➤ EGUIDE 委員会（橋本亮太委員長）

- ・統合失調症薬物治療ガイドライン講習及びうつ病治療ガイドライン講習を引き続き開催している。
- ・精神神経学会委員会作成の「妊産婦の診療ガイドライン」普及に関して、相談を受けている。

➤ 中枢薬専門薬剤師あり方検討ワーキンググループ（吉尾委員長）

大隅理事長より報告がされた。

- ・次回診療報酬改定に向け、日本病院薬剤師会では、薬剤師による DIEPSS 評価の診療報酬化に向けて厚労省に要望書を提出している。
- ・JSPR と協力した講習会等の企画を検討することが、委員会の意見として挙がっており、精神科薬物治療は、薬剤師と医師が密接に協力していくことが重要と考え、今後具体的な企画を検討し、実施していくことが報告された。

➤ 統合失調症薬物療法ガイドラインタスクフォース（中込委員長、橋本亮太委員）

- ・ガイドライン改訂を進めており、英語版が完成し、NPPR のガイドラインページに掲載予定である。

➤ クロザピン対応タスクフォース（橋本亮太委員長）

- ・クロザピンの普及のため、日本神経精神薬理学会、日本臨床精神神経薬理学会、日本統合失調症学会の 3 学会より 2016 年に厚労省に規制緩和の要望書を提出し 2021 年 6月3日添付文書の改訂が行われるという大きな社会貢献につながった。

➤ 不安症治療ガイドラインタスクフォース（井上委員長）

大隅理事長より報告がされた。

- ・日本不安症学会と来年完成を目的に不安症・強迫症診療ガイドラインを進めている。2021 年 6 月 29 日～パブコメ、リーガルチェックを反映させた最終案について両学会理事会にてメール審議を行い、本学会理事から助言があり、現在改訂案を作成中である。改訂案完成後承認をいただく予定である。その後、社交不安症ガイドラインの MINDS 登録作業を行う。

➤ 先端研究推進基盤構築タスクフォース（成田委員長）

大隅理事長より報告がされた。

・「研究活動推進のためのドライ解析研究の推奨」に関して、現在、タスクフォース内に WG を設定し、学会内における相談窓口やプラットフォームを設定することが可能かどうか、検討をしている。

・「製薬メーカー若手研究者やアカデミア（大学研究者・研究所等）を対象としたテーマ毎のリポートによる分科会・情報交換会のニーズに関するアンケート調査」を実施した（対象は、日本製薬工業協会（製薬協）の研究開発委員会に加盟している 35 社）。アンケート回答数としては合計 44 件（22 社）となり、そのアンケート結果を解析中である。

II. 審議事項

1. 2022 年度会計予算について（池田財務委員長）

大隅理事長より意見を求め、勘定科目備考欄に以下を追記する事で承認された。

・脳科学関連学会連合分担金：会費 3 万円、脳科学オリンピック寄付金 5 万円

2. 名誉・功労会員推戴の件（北市総務委員長）

候補者が以下の通り報告され、承認された。今後、ご内意確認を行う。

・名誉会員：西川 徹

・功労会員：荻田 喜代一、菊地 哲朗、白川 治、高濱 和夫、萩野 洋子、米田 博、渡辺 義文（条件付き）

3. 新入会希望者承認の件（北市総務委員長）

4 名から入会希望があり、全員が承認された。

4. 新評議員承認の件（北市総務委員長）

2 名の新評議員推薦があり、承認された。ただし、以下項目の評議員推薦用紙の見直しを行う。

①評議員選出に関する内規第 1 条 2 に該当する推薦に際しては、推薦評議員は別紙（書式自由）にその理由等記載する。

②年数は、西暦表示に統一する。

5. 「理事会運営に関する内規」改定の件（北市総務委員長）

旅費交通費に関する項目を追記する旨が、承認された。

6. 優秀論文賞廃止の件（糸川学術賞選考委員長、北市総務委員長）

NPPR 創設後は、編集委員会が投稿者に対し各種賞を新設しており賞の対象が重複していることもあり廃止の提案がされ、承認された。

7. AE 企画との業務委託契約の件（北市総務委員長）

学会事務局（AE 企画）より契約書の説明があり、承認された。

8. CNPT と NPPR の合流の件（大隅理事長）

日本臨床精神神経薬理学会の学会誌 Clinical Neuropsychopharmacology and Therapeutics (CNPT) と NPPR の合流について説明があり、承認された。

III. その他

➤ 日本学術会議について（尾崎先生、池田先生）

研究のあり方や連携・対話を強めた活動を行っており、現在は COVID-19 に関する学術フォーラムや公開シンポジウムを多く開催している。

➤ 日本脳科学関連学会連合について（尾崎先生、池田先生）

事務局整備に伴い、年会費増額が検討されている（変更前：3 万円→変更後：6 万円 ※別途、脳科学オリンピックへ 5 万円の寄付）。

➤ 今後の理事会/評議員会（総会）開催スケジュール

理事会および評議員会（総会）を10月下旬から11月中旬に開催する。

以上

令和3年7月13日

一般社団法人 日本神経精神薬理学会 理事会

議長	代表理事	大隅 典子
	出席理事	池田 和隆
	出席理事	糸川 昌成
	出席理事	岩田 仲生
	出席理事	尾崎 紀夫
	出席理事	喜田 聡
	出席理事	北市 清幸
	出席理事	新田 淳美
	出席理事	橋本 謙二
	出席理事	橋本 均
	出席理事	橋本 亮太
	出席理事	宮川 剛
	出席理事	山田 清文
	出席理事	渡邊 衡一郎